

住宅の新築・リフォームに手厚い支援で使いやすい

国による  
補助制度

# 次世代住宅ポイント

ポイントは  
どう使えるの？

♪ポイントは商品と交換  
1申請あたり2万ポイント以上が必要です

ポイント対象となる工事

原則2019年4月1日～2020年3月31日までに締結された工事請負契約かつ、2019年10月以降に引渡しを対象

リフォーム  
一戸当たり  
上限30万  
ポイント

若者・子育て世帯が既存住宅を購入しリフォームを行う場合 **条件により上限ポイントが増えます**

上限 **60万円分!!**

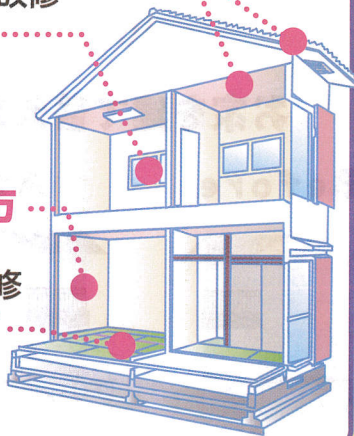
若者世帯(40歳未満の世帯)、子育て世帯(18歳未満の子がいる世帯)が、リフォームする場合は**上限45万ポイント**

新築住宅  
一戸当たり  
上限35万  
ポイント

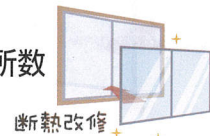
改修内容  
の一例

※窓の大きさや改修部位、部分断熱によって発行ポイントが変わります。

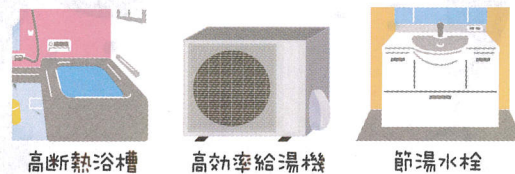
- 屋根・天井断熱改修  
1.6万ポイント・3.2万ポイント
- 窓の断熱改修  
0.2万～2万ポイント
- 外壁断熱改修  
5万・10万ポイント
- 床断熱改修  
3万・6万ポイント



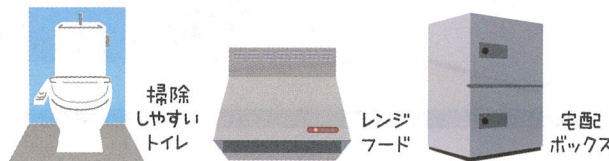
①窓・ドアの断熱改修  
→0.2万～2.8万ポイント×箇所数



②エコ住宅設備の設置  
→0.4万～2.4万ポイント  
(高断熱浴槽、高効率給湯機、節水型トイレ、節湯水栓、等)



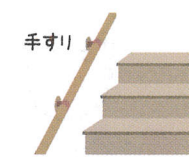
③家事負担軽減設備の設置  
→0.9万～1.8万ポイント  
(掃除しやすいトイレ・レンジフード、浴室乾燥機、宅配ボックス、等)



④耐震改修  
→15万ポイント



⑤バリアフリー改修  
→0.5万～15万ポイント  
(手すり、段差解消、廊下幅拡張、衝撃緩和畳、等)



⑥リフォーム瑕疵保険加入  
→0.7万ポイント



⑦若者・子育て世帯による既存住宅購入に伴う100万円以上のリフォーム  
→10万ポイント

**算定特例**  
既存住宅を購入してリフォームを行う場合、各リフォームのポイントを2倍でカウントします。

新築住宅(貸家を除く)一戸あたり上限35万ポイント  
(以下A・B・Cを合算した合計ポイント)

<b>A</b>	①エコ住宅 (断熱等級4又は一次エネ等級4を満たす住宅)	①～④いずれかに適合する場合、1戸あたり30万ポイント
	②長持ち住宅 (劣化対策等級3かつ維持管理対策等級2を満たす住宅)	
	③耐震住宅 (耐震等級2を満たす住宅又は免震建築物)	
	④バリアフリー住宅 (高齢者等配慮対策等級3を満たす住宅)	
	⑤耐震性のない住宅の建替	15万ポイント

<b>B</b>	①認定長期優良住宅	①～④いずれかに適合する場合、1戸あたり5万ポイント加算
	②認定低炭素住宅	
	③性能向上計画認定住宅	
	④ZEH	

<b>C</b> 家事負担軽減設備	ビルトイン食器洗機	1.8万ポイント
	掃除しやすいレンジフード	0.9万ポイント
	ビルトイン自動調理対応コンロ	1.2万ポイント
	掃除しやすいトイレ	1.8万ポイント
	浴室乾燥機	1.8万ポイント
	宅配ボックス	1万ポイント



対象工事やポイントの詳細、申請手続きは国交省ホームページをご覧ください。本内容は2019年2月18日時点のものです。変更があり得ることをご注意ください。

**さらにおトク!!** すまい給付金対象住宅、フラット35S適合住宅なども対象となります。また自治体独自の補助金との併用も可能な場合がありますので、自治体にお問い合わせください。